

事前にお読みください。

令和3年度 授業の達人 公開授業 令和3年10月25日（月）
国語科 第3学年
单元名 いにしえの心を受け継ぐ 夏草ー「おくのほそ道」から
指導者 黒部市立明峰中学校 平 雄造 教諭

○ このビデオはハイビジョンで作成されているため、DVD プレーヤーで見ること
できません。パソコンでご覧ください。

○ このビデオは次の構成でできています。一部分をご覧になりたい場合は、その場
面に時間を合わせてご覧ください。

1 学校全景 0:00

2 タイトル 0:10 教科 学年 单元名 指導者 日付

3 本時の学習 0:25 ねらい 主な展開

（詳しくはPDF ファイル「指導案」をご覧ください。）

4 授業のポイント 0:50 6 参照

5 授業のポイントの振り返りについて 1:10

6 授業 1:25

ポイント1 本時のねらいを明確にする学習課題の設定 01:31

ポイント2 歴史的背景を理解するための学習活動の工夫 02:39

ポイント3 自分の考えをつくり、深め、表現する場の工夫 14:50

7 達人に聞きました 25:31

【本時の学習について】

生徒が見通しをもって学習に取り組めるように、『『おくのほそ道』学習冊子』を作成した。また、難易度が高い課題であるため、歴史的背景や本文の内容等、前時までの学習内容の蓄積が確認できるようにし、それを踏まえて考えることができるように配慮した。さらに、書く時間と話し合う時間、個人で考えをまとめる時間を十分に確保することで、芭蕉が感じたことについて思いをはせ、共有し、考えを深めることができるようにした。

【日頃の学習について】

国語科の授業は、「言葉」について学習する時間であるので、生徒一人一人が「言葉」を使用することが大切であると考えている。そこで、以下の点に配慮して授業を進めている。

・課題を分かりやすく明確にする

「何について考えればよいのか」が明確でないと、生徒が主体的に言葉を使って考えることはできない。分かりやすく、それでいて生徒の興味をそそる課題の設定を心掛けている。

・アウトプットする機会を多く設ける

書くことや発表すること、話し合うこと等、アウトプットする機会を多く設けている。そうすることで、相手の言いたいことをしっかりと理解し、それに対する自分の考えを伝えようとする意欲が高まるので、生徒の思考力・判断力・表現力を効果的に育成することができる。また、ペアやグループでの対話の時間を多くすることで、双方向の学び合いの雰囲気や効果を高めることにつなげている。

8 エンディング 26:51